



春 江 だ よ り

7 月 号

令和6年6月28日

様々な教育活動の取組

校長 小林 麻子

運動会が終わりました。当日は前日からの雨が早朝まで続き、7時の実施可否の判断まで悩んだ末の実施となりました。結果、天気予報とは違って今度は暑さが心配になるほどの天候となり、暑さ対策もしながらの実施となりました。この数年間は、全校児童がいっぺんに校庭に出ることはなく、また保護者は入場制限を行うなど、感染症の対応をしまいましたが、今年度は全校児童が他学年の競技を観て応援し、保護者以外のご家族も参観できるスタイルとしました。そのような中、子供たちが力いっぱい演技や競技をする姿を保護者や地域の皆様に観ていただきました。アンケートから、「生き生きと体いっぱい使って表現する姿に成長を感じた」「最後まで走り切る姿に感動した」「上級生の係としての活動がすばらしかった」などのご感想をいただきました。実施方法に関しては、「久しぶりに他学年の演技を見ることができた」「祖父母など家族が参観できた」「プログラムの変更やミストの使用、テントの使用など暑さ対策がありよかった」なども挙げていただきました。さらに、教職員へのねぎらいの言葉も多くいただき、大変うれしく思いました。なお、観覧場所、観覧の仕方、徒競走について等のご意見もありました。皆様から頂きましたご意見をもとに、来年度、よりよい運動会となるようにしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

さて、新学期がスタートし、3か月が過ぎようとしておりますが、学校では、運動会や普段の教室での授業以外にも多くの教育活動を行っています。係活動や委員会活動、クラブ活動など日常的な活動はもちろんですが、6月までに全校で体力テスト、1、2、3年生は「連れ去り被害防止」のセーフティ教室、2年生は生活科見学、4年生は水道キャラバン、5年生はバケツ稲の出前授業、6年生は音楽鑑賞教室など、7月は、3年生が自転車運転教室、6年生は中学校の教員による授業、部活動体験と、外部からの講師の方に来ていただいたり、子供たち自身が校外に出て行ったりと、その活動は様々です。専門性の高い方から教えていただいたり、本物を見たり、聞いたりする体験は学びの理解を深めることにつながります。人間は5感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）のうち、複数の感覚で刺激を受けると記憶に残りやすくなるそうです。写真や動画などの視覚的な情報や音などの聴覚的な情報と同時に手触りなどの触覚的な情報も大切にしたいと思っております。文字を書くということも、字の形という視覚的な情報と同時に筆圧という触覚的な情報もあるため、記憶に残りやすいと言われております。個人差もあり、一概に言えるとは限りませんが、小学生という発達段階ではいろいろな刺激を受けることは重要なことです。

すでに実施した低学年の「まちたんけん」なども重要な学習機会でしたが、春江小学校には恵まれた環境があり、この環境を生かした教育活動を大切にしたいと思っております。反面、こうした活動には事前の打ち合わせや調整・準備、引率の体制を整えるなど、普段以上に教職員に準備が必要となることも事実です。学校では様々なバランスに配慮しながら、今後も多様な教育活動を関連付けて子供たちの力を伸ばしていきたいと思っております。7月の授業日は14日間です。1学期にできるようになったこと、頑張れたことなどを振り返り、気持ちよく夏休みを迎えてほしいと思っております。